

〔総説〕

ジェネリック医薬品数量シェア 80%への壁 ～ジェネリック医薬品, バイオシミラー使用促進について～

Barriers for Generic Drugs to Reach 80% of the Market Share on a Volume Basis
—What to Do to Promote the Use of Generic Drugs and Biosimilars—

武藤 正樹 MASAKI MUTO

国際医療福祉大学大学院教授

Summary : Various barriers for generic drugs to reach 80% of the market share on a volume basis include physicians' distrust in the quality of generic drugs, the quality and supply system of active pharmaceutical ingredients, and the tendency of industry to focus on the long-listed drugs. This paper also discusses institutional barriers to promoting the use of biosimilars.

Key words : generic drugs, biosimilars, active pharmaceutical ingredients, long-listed drugs

要旨 : ジェネリック医薬品の数量シェア目標80%へ向けて, 以下のようなさまざまな障壁が立ちはだかっている. ジェネリック医薬品に対する医師の不信・不安, 原薬の品質や供給体制, 長期収載品に依存する業界体質など. バイオシミラーの普及の制度的な壁についても言及する.

キーワード : ジェネリック医薬品, バイオシミラー, 原薬, 長期収載品

はじめに

2015年6月, 安倍内閣は経済財政運営の指針「骨太の方針」において, ジェネリック医薬品の普及ロードマップの目標を以下のように定め, 閣議決定した. 「2017年の年央に(特許切れ品の数量ベース

で)70%, 2018~2020年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上達成」.

さて, 昨年2016年7月の「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」によるとジェネリック医薬品割合は65.8%であった. また同年10月分の協会けんぽの調剤分の全国平均は68.8%と70%目標

* 〒107-0052 東京都港区赤坂 8-5-34 戸田ビル青山 4 階
TEL : 03-5772-3396 FAX : 03-5772-3391
E-mail : mutoma@iuhw.ac.jp

〔筆者略歴〕

・学歴

1974年 3月 新潟大学医学部卒業
1978年 3月 新潟大学大学院医科研究科修了

・職歴

1978年 4月 国立横浜病院にて外科医師として勤務, 同病院在籍中1986~88年までニューヨーク州立大学家庭医療学科に留学
1988年 4月 厚生省関東信越地方医務局指導課長
1990年 6月 国立療養所村松病院副院長
1994年 4月 国立医療・病院管理研究所医療政策研究部長

1995年 6月 国立長野病院副院長
2006年 4月 国際医療福祉大学三田病院副院長・国際医療福祉総合研究所長・同大学大学院教授
2012年 4月 中央社会保険医療協議会入院医療分科会座長

・学位

医学博士

・研究分野
医療経営管理分野

・所属学会

日本医療マネジメント学会副理事長, 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会代表理事, 日本疾病管理研究会会長, 医療材料マネジメント研究会代表幹事, 医療福祉建築協会理事, 日本外科学会会員